「大学生の体組成、筋力、食習慣、身体活動に関する実態調査
－若年者におけるサルコペニアの検討 2－（KEIJI-U Ex Study）」

本 研 究 へのご協 力 のお願 い

研究責任者：滋賀大学　保健管理センター
所長、教授　　山本　祐二

【研究目的】

日本は世界でもトップクラスの長寿国として知られるようになってきました。一方、高齢者が増加する中で、要介護（要支援）認定高齢者は 600 万人に達し、今後さらに増加することが予想されています。要介護（要支援）となる原因として、骨折・転倒が全体の 1 割以上を占めています。サルコペニア（骨格筋量減少と筋力低下・運動機能低下）は、骨折・転倒の主疾病の一つとして注目されています。

一方、近年のダイエットブームなどにより、若年者の間で「やせ」の割合が増えてきていることが問題になっています。極端なカロリー制限、不規則な食生活、運動習慣の減少は、若年者の体組成変化（体脂肪は増加し、筋肉量は減少する）をもたらし、若年者においてもサルコペニアを合併する恐れがあります。また、筋肉は、体を支え転倒を防止するだけではなく、摂取したグルコースを処理する重要な臓器です。そのため、筋肉量が減少することで、糖尿病になる可能性が高くなることも報告されています。

平成 31 年度新入生を対象に本学と京都工芸繊維大学、京都大学および京都医療センターで行った共同研究（KEIJI-U Study）では、痩せに該当するものが男性で 17.3%、女性で 16.2%認められました。また骨格筋量が減少しているものは、男性で 8.0%、女性で 3.1%に認められ、筋力が低下しているものは、男性で 2.4%、女性で 1.2%に認められました。肉体的にも成長過程にある大学生において、これらの経時変化を把握することは、極めて重要なことと考えられます。本研究の目的は、若年者におけるサルコペニアの実態とその特徴を明らかにすることです。

【対象者】

令和 4 年度の健康診断を受診する大学 4 年生
かつ、平成 31 年度新入生健康診断を受診したもの

【利用させていただく情報】

通常健康診断で評価される下記項目

（問診）　既往歴、家族歴（糖尿病、高血圧、脂質異常症、癌、その他について）、生活歴
（身体計測）　身長、体重、体格指数（BMI, body mass index）
（血圧・脈拍）　収縮期血圧、拡張期血圧、脈拍

本研究のために追加で評価される下記項目

（体組成計測）　体脂肪率、四肢骨格筋量、骨格筋指数（SMI, skeletal mass index）
（筋力測定）　握力
（質問紙調査）　栄養調査（BDHQ, Brief-type self-administered Diet History Questionnaire）
活動調査（IPAQ, International physical activity questionnaire）

【個人情報について】

健康診断を受診した学生の個人情報は、本学保健管理センターにおいて学生健康記録として厳重に管理すると同時に、個別の健康指導に利用します。本研究成果を学会、研究会、論文などで発表することがありますが、個人が特定できるような情報は厳重に秘匿され、公開されることはありません。

【留意事項】

本研究は、健康診断で得られる情報を二次利用する観察研究です。

本研究は、滋賀大学、京都工芸繊維大学、京都大学、国立病院機構京都医療センター（日下部徹：研究代表者）による共同研究です。本学においては倫理委員会で承認され、学長の許可のもと実施します。

本研究に関してご質問がある方や本研究への協力を希望されない方は、平日の9時から17時の間に下記までご連絡をお願い申し上げます。同意の撤回は研究期間中いつでも受け付けますが、データが匿名化され、京都医療センターでの解析が開始されるおおよそ 2022 年7月1日以降は、個々のデータを削除することは困難となる場合があります。

本研究で得られた情報は将来研究等に利用されることがありますが、その時は利用目的・方法および情報を利用されたくない場合の手続きについて、本学保健管理センターのホームページ上でお知らせします。

なお、本研究への協力を希望されない場合も学業成績評価等の不利益をこうむることは一切ありません。

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【問合せ先】
〒522-8522
滋賀県彦根市馬場 1 丁目 1-1
国立大学法人　滋賀大学　保健管理センター
所長、教授　　山本　祐二
電話：0749-27-1024（彦根地区）、077-537-7709（大津地区）

＊本研究に関して開示すべき利益相反関連事項はありません。